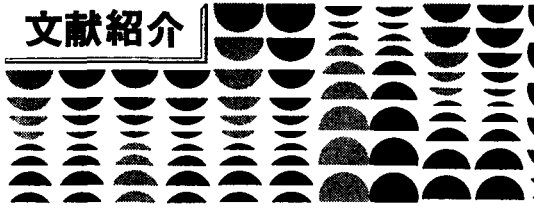


## 文献紹介



*International Journal of Production Research*,  
16, 1, 1978.

- 657 グラフ理論によるプラント・レイアウト問題のヒューリスティック解  
L. R. Foulds & D. F. Robinson 27-37.  
極大平面グラフを利用した、平面性テストの必要がない2つの方法を提案する。
- 658 並行処理の所要期間最小化問題の会話型処理  
R. A. Nichols, R. L. Bulfin, 他, 77-81.
- 659 並行処理スケジューリング・アルゴリズムの限界  
A. Dogramaci & J. Surkis, 83-85.  
(松浦春樹)

*International Journal of Production Research*,  
16, 2, 1978.

- 660 グループ・テクノロジーによる効果の評価尺度  
T. J. Grayson, 89-102.  
グループ・テクノロジーに関するソヴィエトの論文を数篇紹介し、西側の論文における評価尺度と比較する。
- 661 生産・在庫費用が最適計画ホライズンに及ぼす影響  
John J. Bernardo. 103-114.  
最適計画ホライズンの解析解を求め、その長さが生産費用に比例し、在庫費用と需要のばらつきに逆比例することを示す。
- 662 ウラン製造プラント撤去後の環境浄化に関連する外部要因と機会利益/費用分析  
R. E. Turley, E. A. Elsayed, 他, 115-126.  
ユタ州, ソルト・レーク・シティにおける事例報告。
- 663 集和スケジューリング問題へのゴール・プログラミングの応用  
A. G. Lockett & A. P. Muhlemann. 127-135.
- 664 生産計画・管理とスケジューリングのための意志決定システム  
G. Doumeingts, L. Pun, 他, 137-152.  
(松浦春樹)

*TRANSPORTATION SCIENCE*, 13, 1, 1979.

- 665 分散型需要モデルの統計的予測  
C. F. Daganzo. 1-12.  
これまでほとんど注意を払われなかった分散型需要モデルによる予測を取扱っている。輸送設備を使う人数の期待値の近似的信頼区間の評価法や実際に使用される期間の近似的推定法を説明しており、推定パラメータの分散が非常に小さくない限りは結果の予測値は偏りがあり、信頼区間も正確でないといっている。
- 666 都市における居住地と勤務地の同時分布について  
K. H. Khaw & R. J. Vaughan. 13-19.  
Blumenfeld が連続的モデリングによる解析を試みているが、ここでは4変数正規モデルの循環対称形を考え、さらにつつこんだ解析が行なわれている。
- 667 最適なバス・ルート計画に関するいくつかの問題  
G. F. Newell. 20-35.  
多始点、多終点のトリップ分布がある場合の最小コストのバス・ルート決定問題を取扱っている。1つの結果の示すところによると、碁盤目状道路の場合、直線運転のみのバス・ルート設定はかなり理想的な条件のもとでも最適とはなり得ず、1本の道路に集中し共通地点を通るルート設定のほうが最適になりやすいと述べている。
- 668 車頭時間々隔がセミ・ポアソン分布とした場合の高速道路での車両追従時間々隔について  
P. Wasielewski. 36-55.  
車頭時間々隔のモデルをセミ・ポアソン分布として車両追従パターンを解析した追従車両の車頭時間々隔は交通量に無関係で、平均値1.32秒、標準偏差0.52秒であった。この結果と観測データとの間に統計的有意差はみられなかったと述べている。
- 669 多層階級ユーザーの分布が非対称形のときの輸送ネットワークにおける平衡状態の存在について  
D. Braess & G. Koch. 56-63.  
多層階級のユーザーがいる場合の輸送問題については、Dafermos がユーザー最適のフローパターンの存在を証明するために、対称形分布という強い仮定をおいていた。この論文では、その対称性の仮定なしでも最適フローパターンが存在することを証明し、またコンベックス・プログラム手法は適用できないことを示している。
- 670 巨視的現象への応用としての安定位相平面と車両追従行動  
A. Ceder. 64-79.  
(小野耕司)